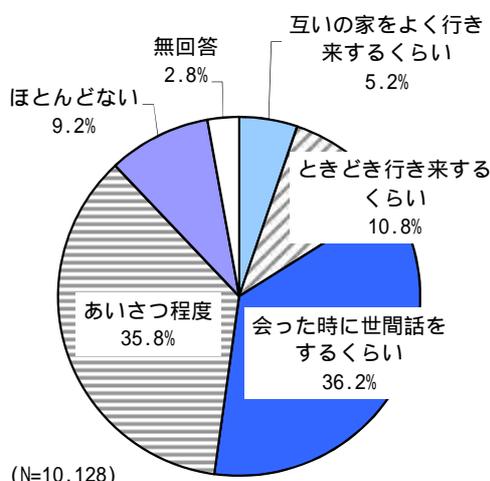


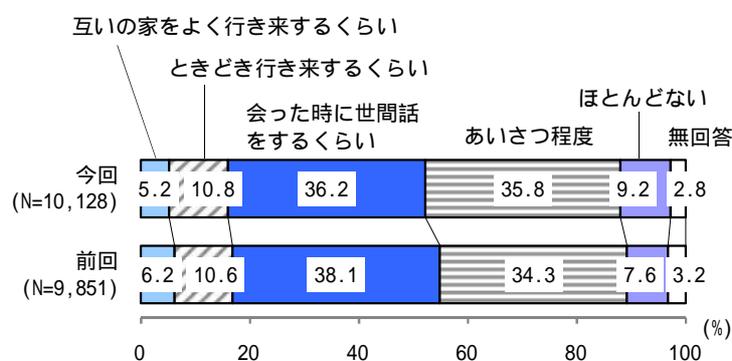
問20 近所付き合いの程度

あなたは、近所付き合いをどの程度していますか。(はひとつ)

【図20 近所付き合いの程度】



【図20-1 近所付き合いの程度(比較)】



近所付き合いについては、「会った時に世間話をするくらい」が36.2%と最も多く、次いで「あいさつ程度」が35.8%となっている。(図20)

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の構成割合となっている。(図20-1)

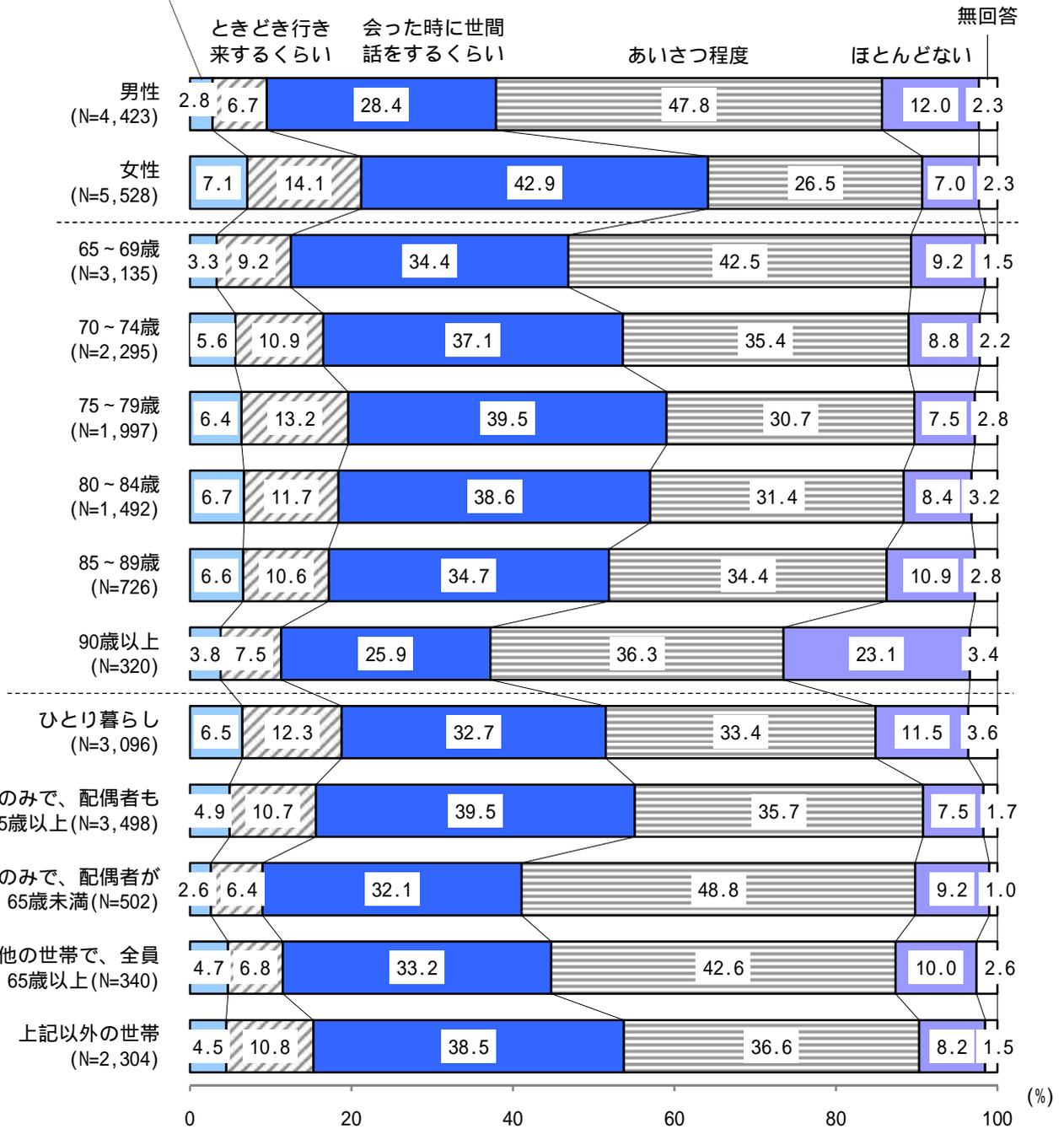
性別でみると、「互いの家をよく行き来するくらい」「ときどき行き来するくらい」をあわせた『近所の方と行き来のある人』については、男性は女性の半分以上に留まっている。また、男性は「あいさつ程度」が女性の倍近くとなっている。

年齢別では、『近所の方と行き来のある人』は75～79歳で最も多く19.6%となっている。また、65～69歳では「あいさつ程度」の回答が最も多く、90歳以上では、付き合いの「ほとんどない」方の割合が、他の年齢と比べて多い。

世帯状況別でみると、『近所の方と行き来のある人』は、ひとり暮らし世帯が18.8%と最も多いが、付き合いが「ほとんどない」との回答も11.5%と、他の世帯と比べて高い割合となっている。(図20-a)

【図20-a 近所付き合いの程度（性別・年齢別・世帯状況別）】

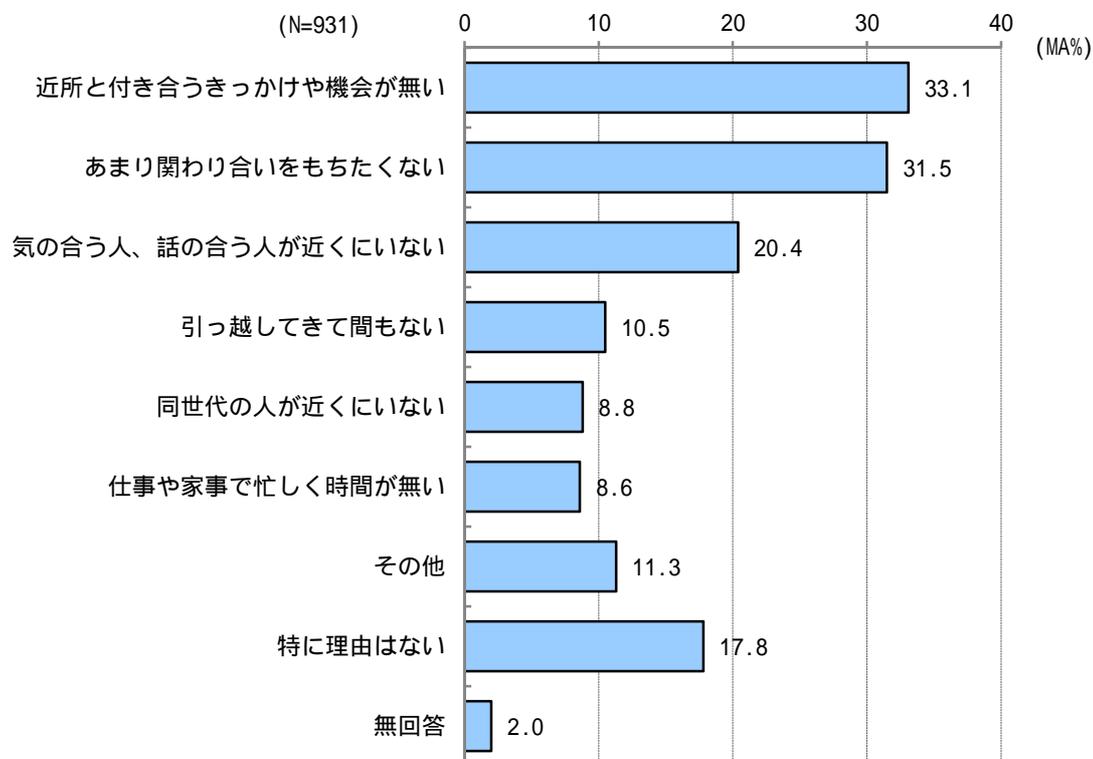
互いの家をよく行き来するくらい



問20-1 近所付き合いがほとんどない理由

【問20で「5 ほとんどない」と回答された方におうかがいします。】
近所付き合いがほとんどない理由は何ですか。(はいくつでも)

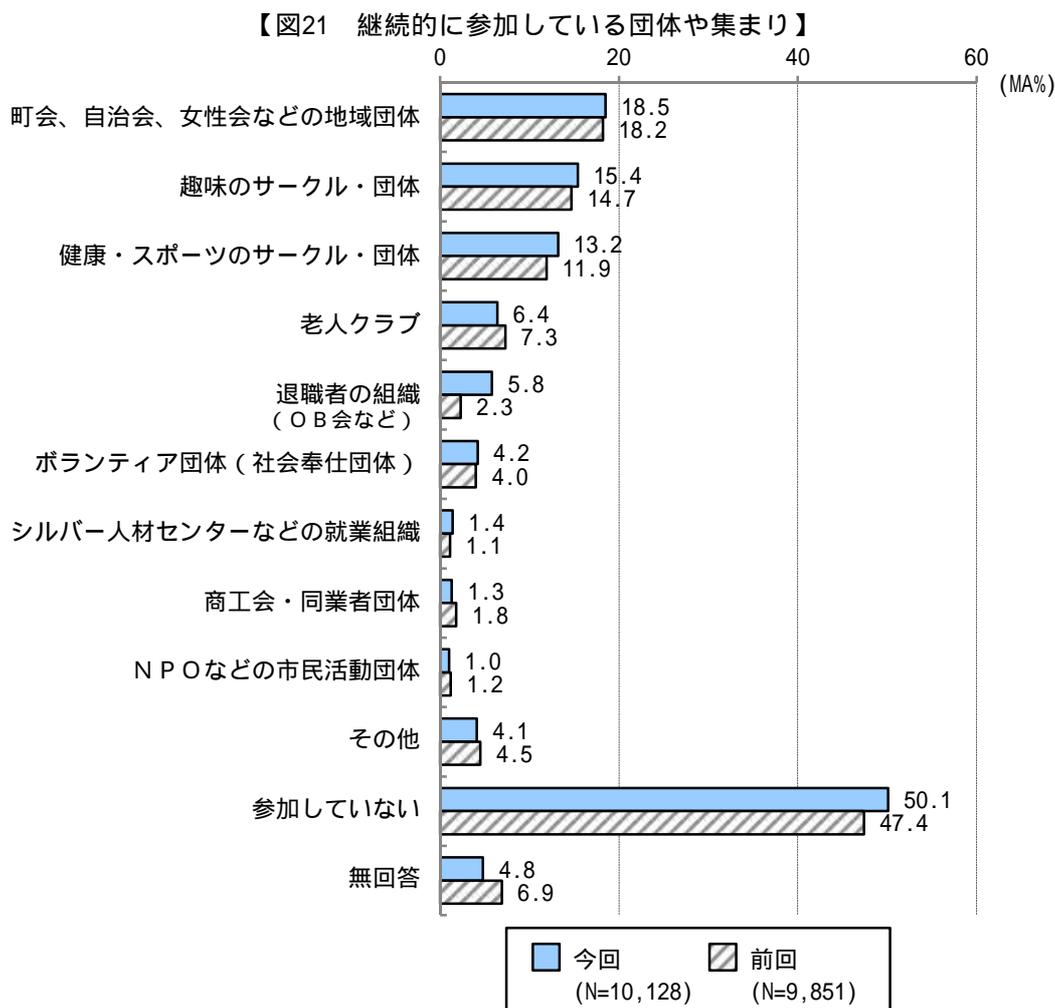
【図20-1-1 近所付き合いがほとんどない理由】



近所付き合いがほとんどないと回答した人に、その理由をたずねると、「近所と付き合いきっかけや機会が無い」が33.1%で最も多く、次いで「あまり関わり合いをもちたくない」(31.5%)となっている。(図20-1-1)

問21 継続的に参加している団体や集まり

あなたが、現在、継続的に参加している団体や集まりはありますか。(はいくつでも)



参加しているとの回答の中では、「町会、自治会、女性会などの地域団体」が18.5%と最も多く、次いで「趣味のサークル・団体」(15.4%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(13.2%)となっている。

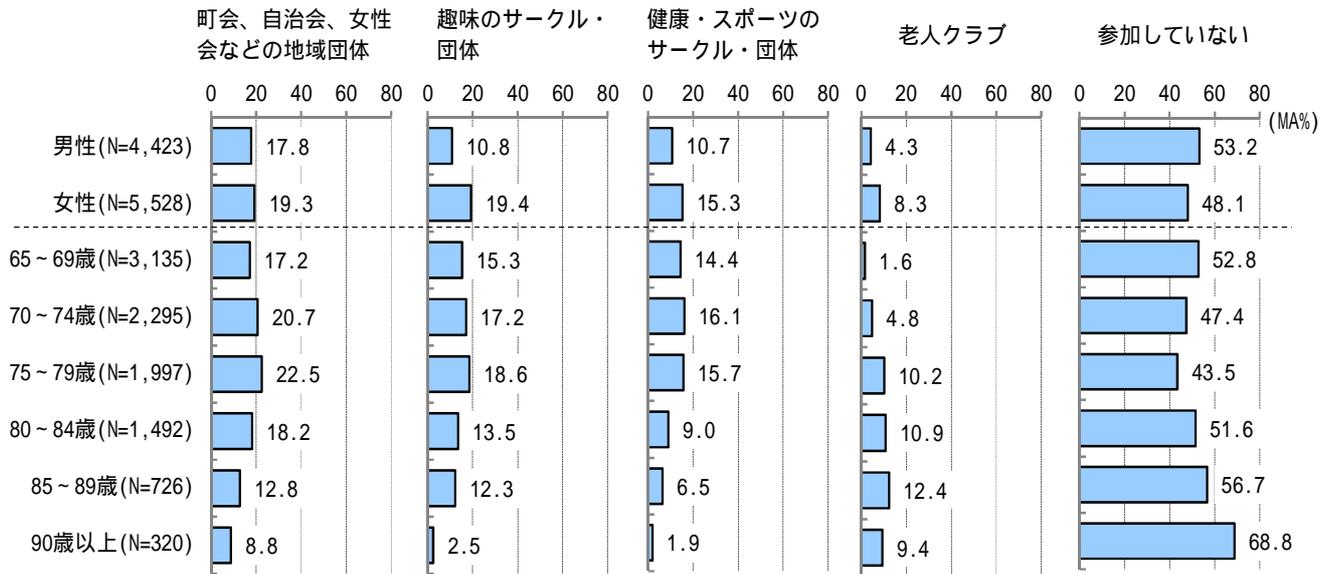
一方で、回答割合が最も多いのは、「参加していない」で50.1%となっている。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっているが、「参加していない」は前回より2.7ポイント高くなっている。(図21)

性別で見ると、「参加していない」は女性よりも男性の方が高い割合となっており、団体等への参加についても、全体的に女性の方が参加割合が高い。

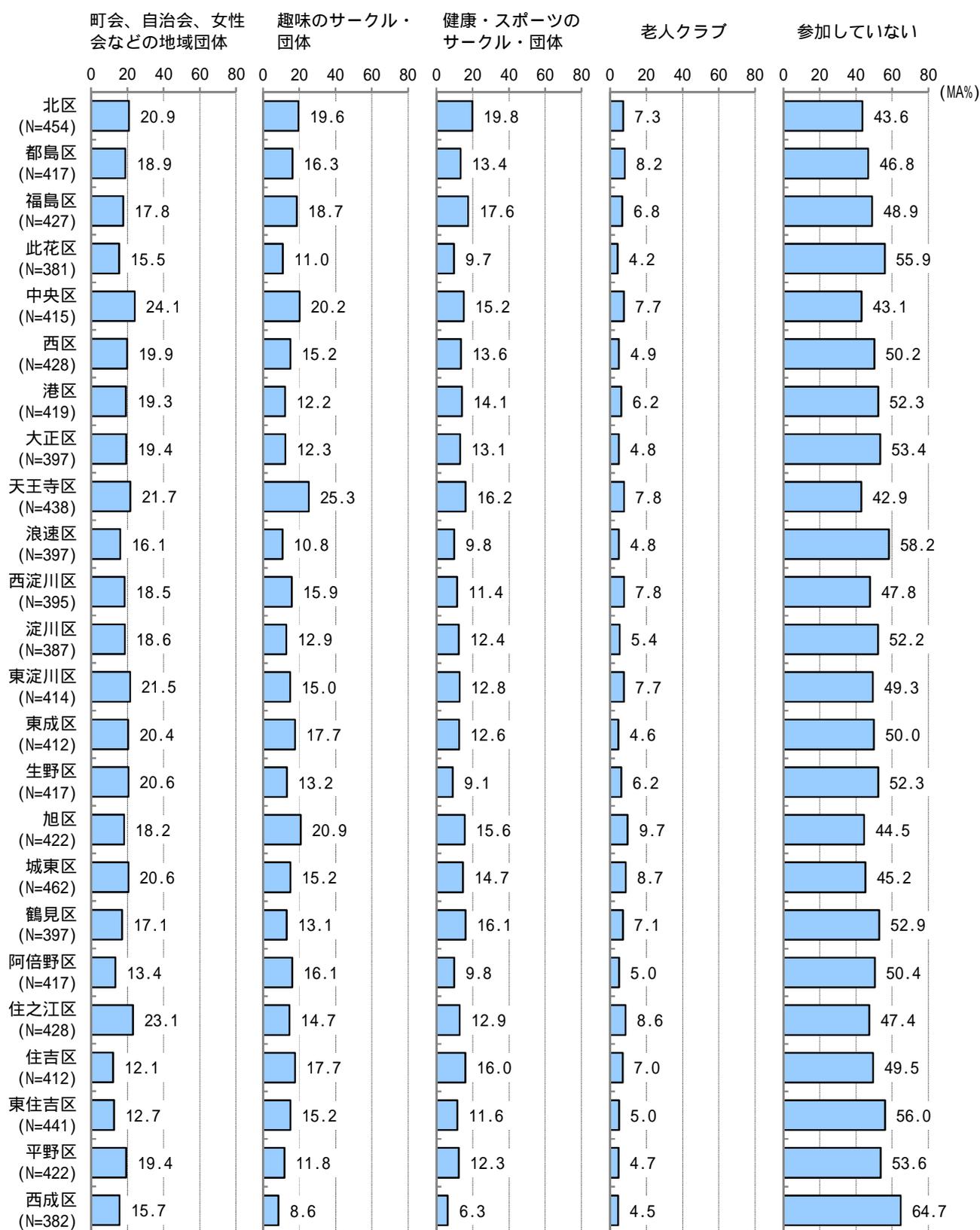
年齢別では、「参加していない」が65～69歳と80歳以上で5割を超える割合となっている。(図21-a)

【図21-a 継続的に参加している団体や集まり（性別・年齢別）（上位項目）】



居住区別でみると、「参加していない」は西成区(64.7%)で最も高く、次いで浪速区(58.2%)、東住吉区(56.0%)と続いている。(図21-b)

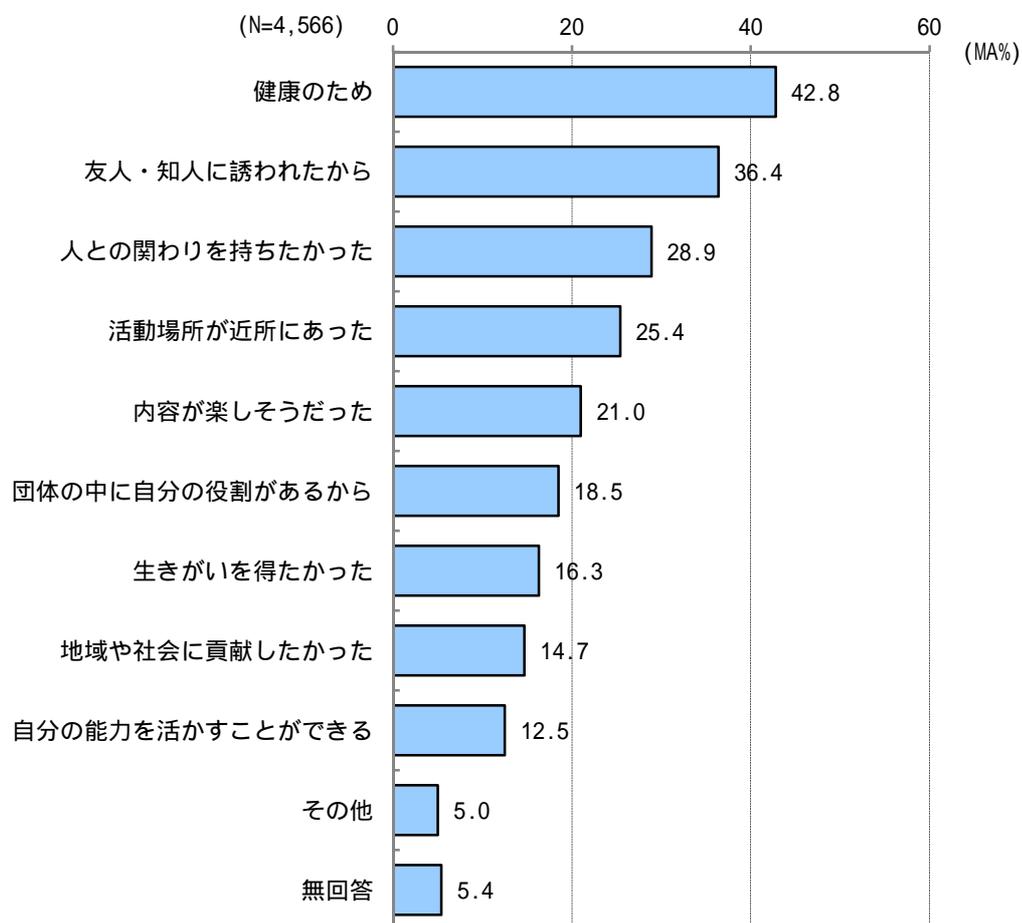
【図21-b 継続的に参加している団体や集まり(居住区別)(上位項目)】



問21-1 参加のきっかけ

【問21で「1～10」と回答された方におうかがいします。
あなたが、参加するようになったきっかけは何ですか。(はいくつでも)

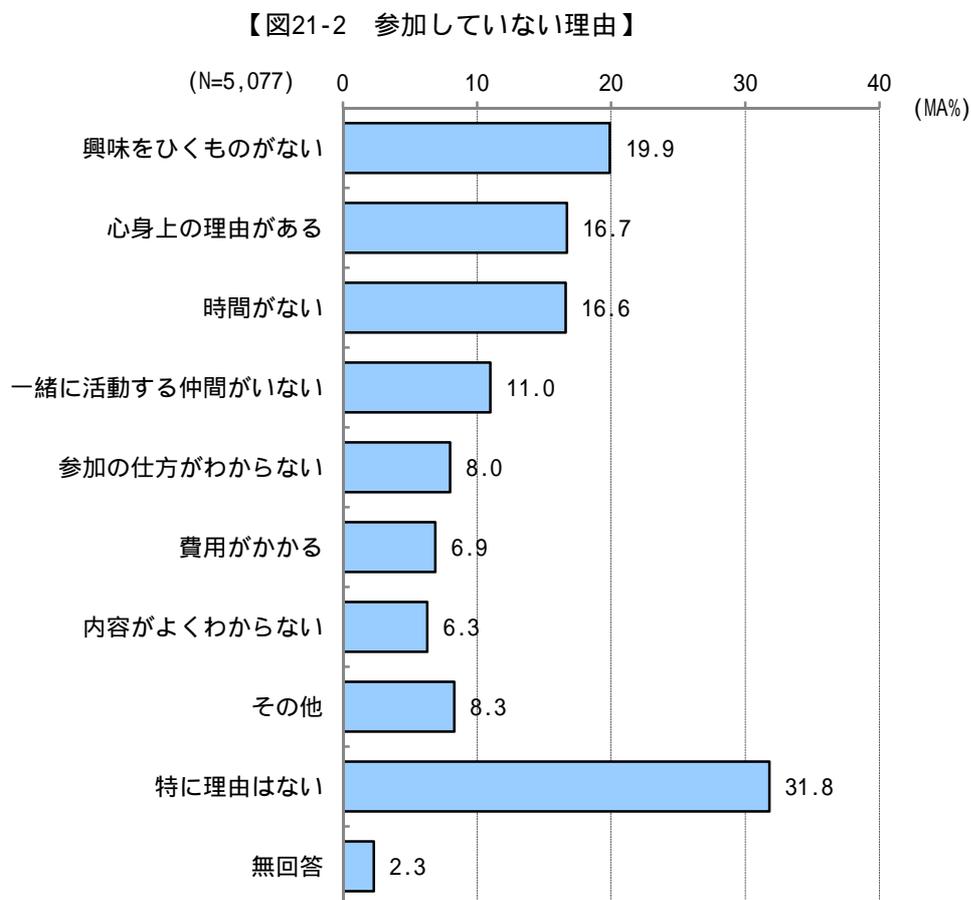
【図21-1 参加のきっかけ】



参加していると回答した人に、参加のきっかけをたずねると、「健康のため」が42.8%と最も多く、次いで「友人・知人に誘われたから」(36.4%)、「人との関わりを持ちたかった」(28.9%)となっている。(図21-1)

問21-2 参加していない理由

【問21で「11 参加していない」と回答された方におうかがいします。
あなたが、参加していない理由は何ですか。(はいくつでも)

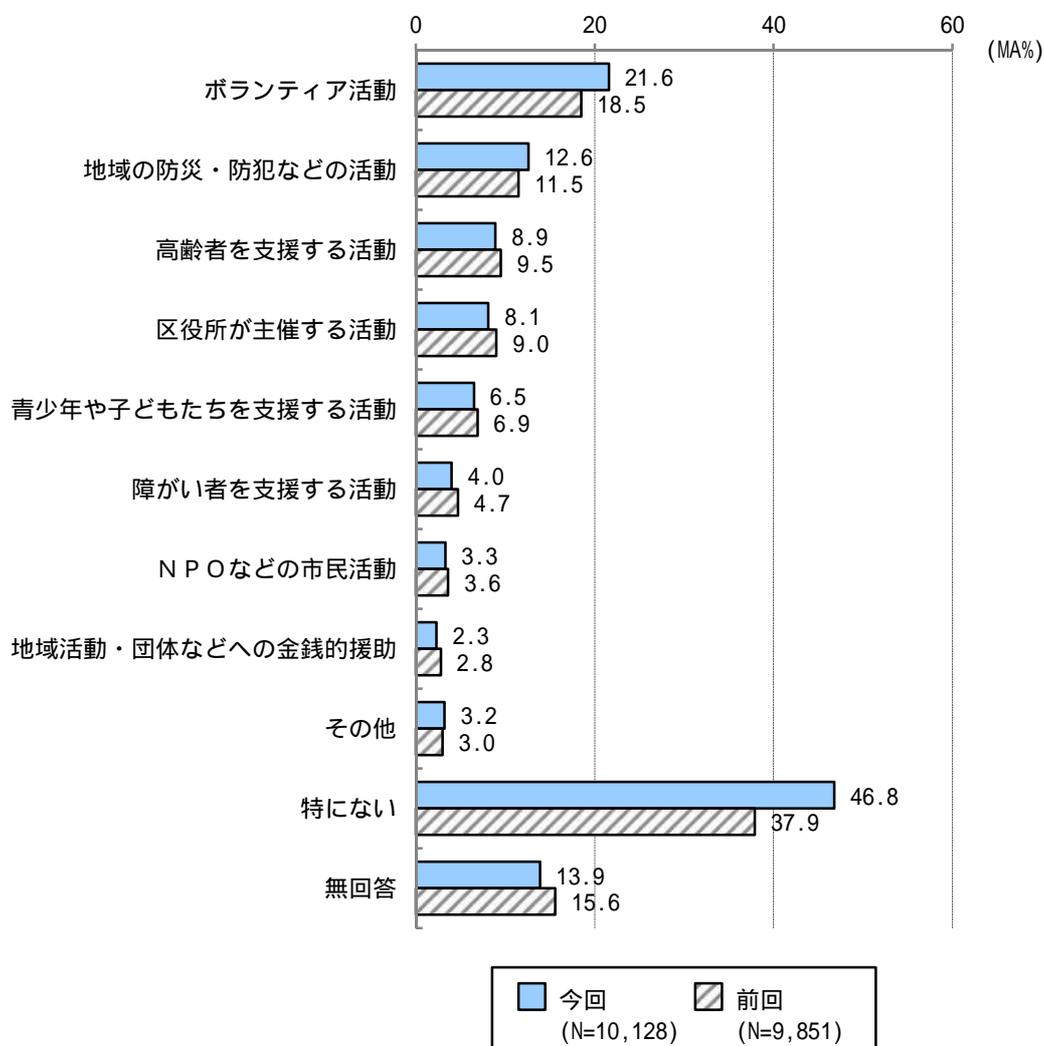


参加していないと回答した人に、参加していない理由をたずねると、「特に理由はない」が31.8%と最も多い。次いで「興味をひくものがない」(19.9%)、「心身上の理由がある」(16.7%)、「時間がない」(16.6%)となっている。(図21-2)

問22 地域社会に貢献できると考える活動

今後、少子高齢化が進んでいく中、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されますが、あなたが、地域社会に貢献できるとお考えの活動はどのようなことですか。
(はいいくつでも)

【図22 地域社会に貢献できると考える活動】

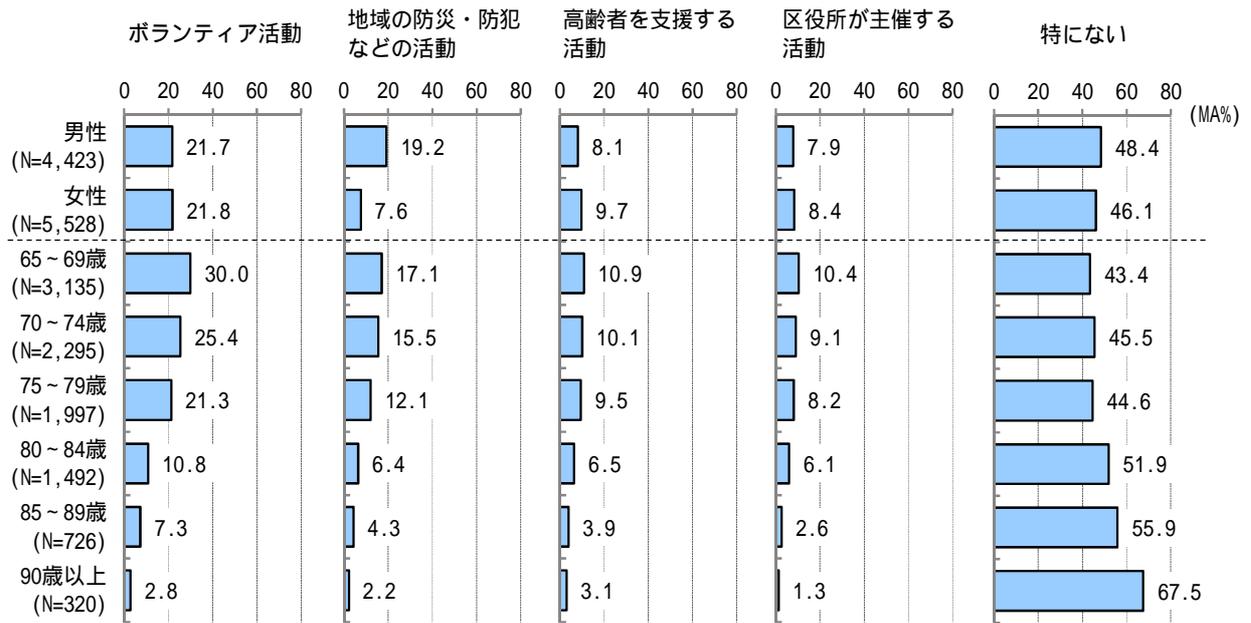


地域社会に貢献できると考える活動についてたずねると、「ボランティア活動」が21.6%で最も多く、次いで「地域の防災・防犯などの活動」(12.6%)、「高齢者を支援する活動」(8.9%)となっている。一方で、「特になし」が46.8%であり、回答の中では最も多くなっている。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっているが、「特になし」は前回より8.9ポイント、「ボランティア活動」が3.1ポイント高くなっている。(図22)

性別でみると、「地域の防災・防犯などの活動」の回答割合は男性の方が1割以上高い。年齢別でみると、概ね高齢になるほど回答割合が低くなっている。(図22-a)

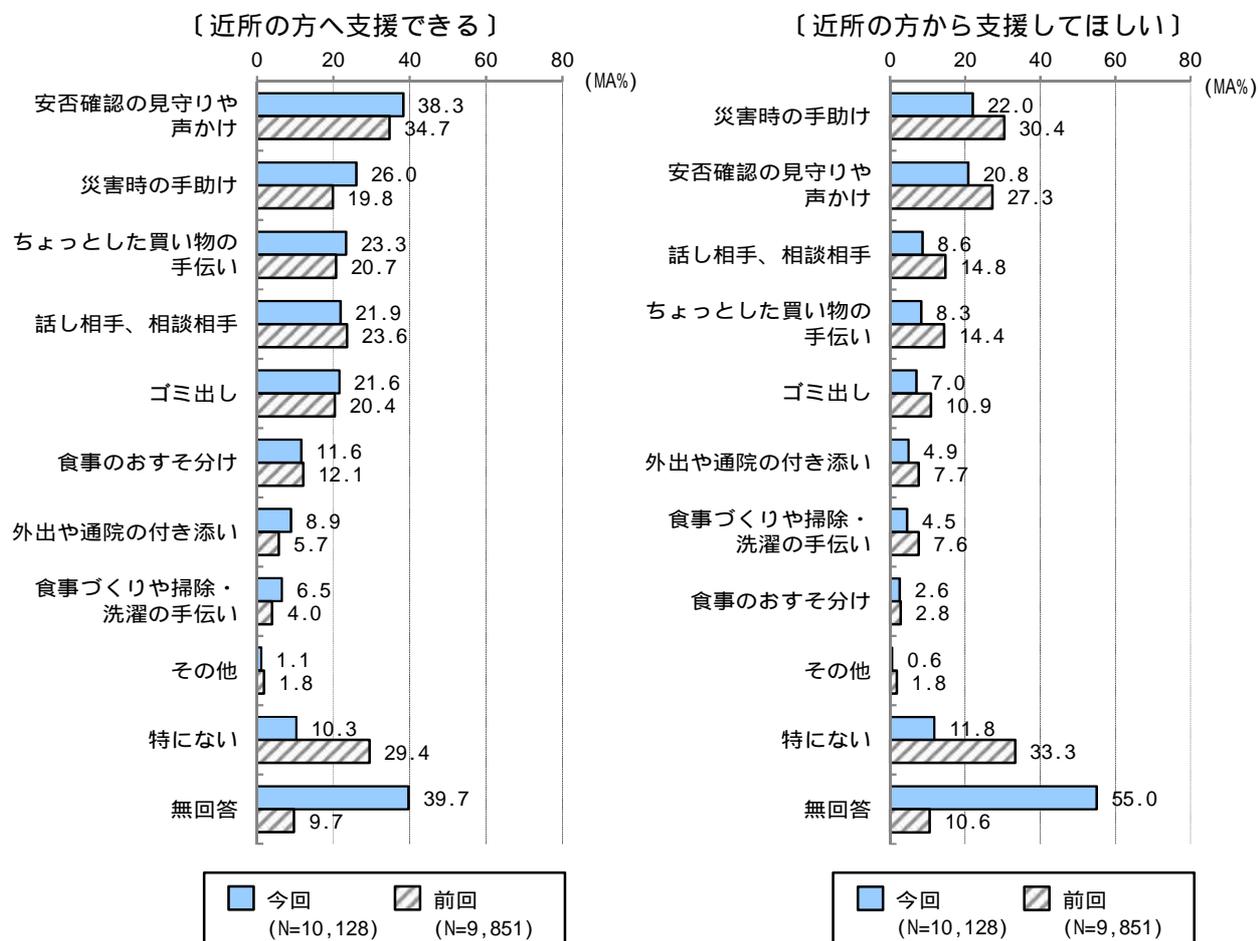
【図22-a 地域社会に貢献できると考える活動（性別・年齢別）(上位項目)】



問23 近隣への支援と近隣からの支援

次の項目それぞれについて、近所の方がお困りのときあなたが支援できること、また、あなたがお困りのとき（今後、お困りになったとき）に地域の人に手助けをしてほしいことをつけてください。（はいいくつでも）

【図23 近隣への支援と近隣からの支援】



近所の方へ支援できることについては、「安否確認の見守りや声かけ」が38.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(26.0%)、「ちょっとした買い物の手伝い」(23.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「災害時の手助け」が6.2ポイント、「安否確認の見守りや声かけ」が3.6ポイント高くなっている。

近所の方から支援してほしいことについては、「災害時の手助け」が22.0%で最も多く、次いで「安否確認の見守りや声かけ」(20.8%)、「特にない」(11.8%)となっている。

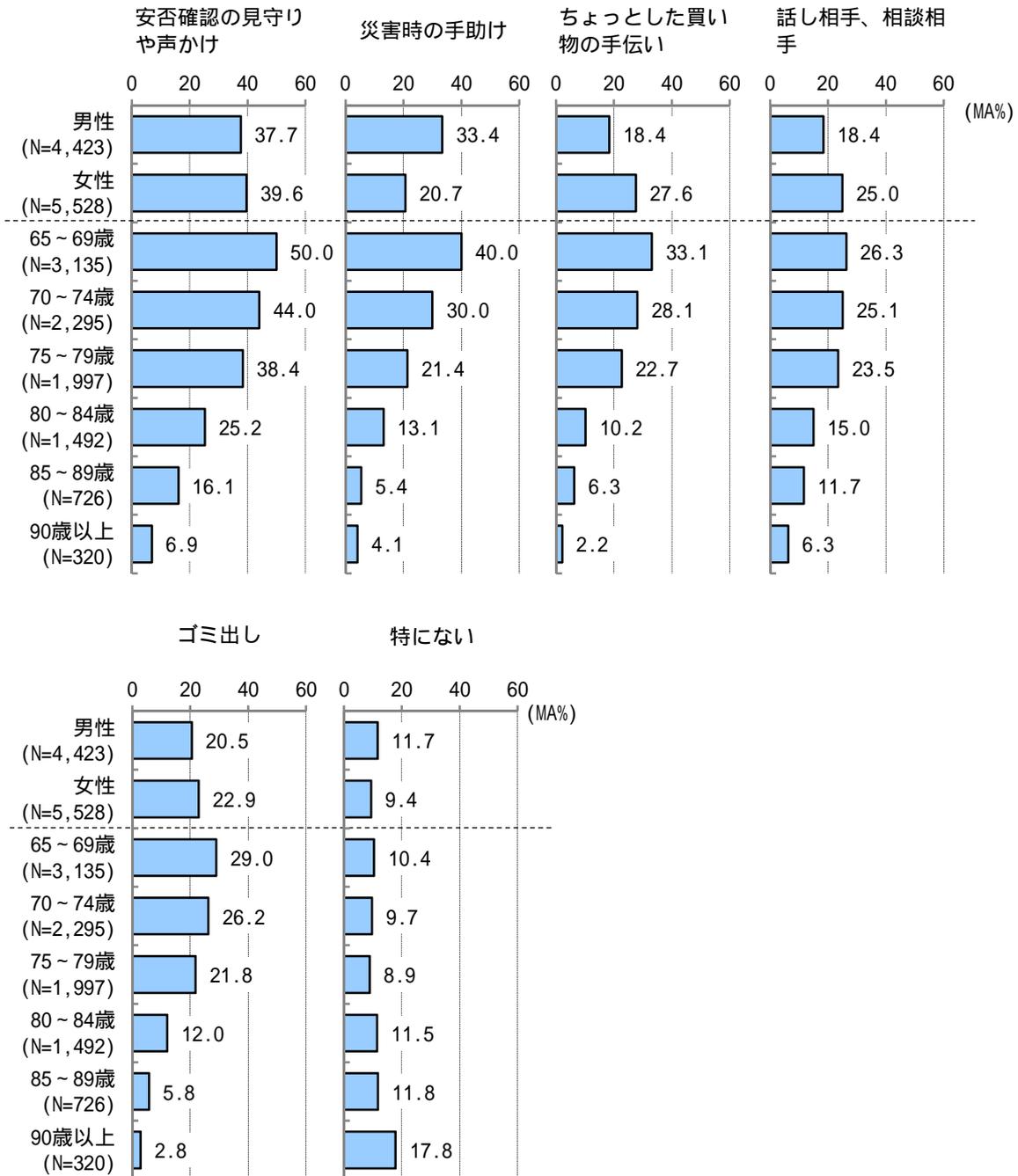
前回調査と比較すると、「災害時の手助け」が8.4ポイント、「安否確認の見守りや声かけ」が6.5ポイント、「話し相手、相談相手」が6.2ポイント、「ちょっとした買い物の手伝い」が6.1ポイント、それぞれ前回より低くなっている。

支援できることと支援してほしいことを比較すると、「安否確認の見守りや声かけ」については17.5ポイント差、「ちょっとした買い物の手伝い」は15.0ポイント差、「ゴミ出し」は14.6ポイント差、「話し相手、相談相手」は13.3ポイント差とそれぞれ差が大きく、支援してほしいことより支援できることのほうが高い割合となっている。(図23)

近所の方へ支援できることについて性別で見ると、「災害時の手助け」の回答割合は男性の方が、それ以外の項目は、女性の方が高くなっている。

年齢別で見ると、いずれの項目も高齢になるほど低くなっている。(図23-a)

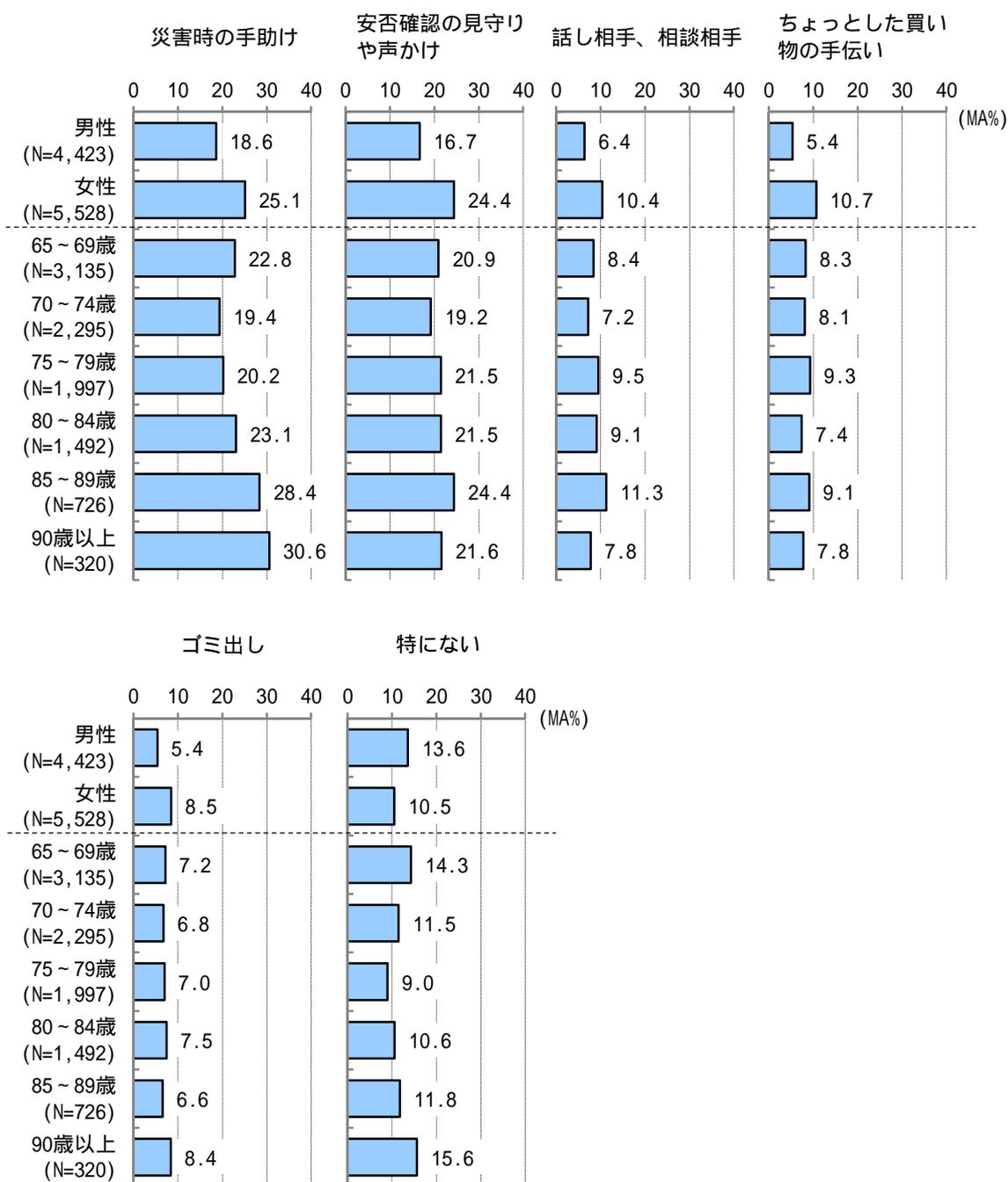
【図23-a 近隣への支援と近隣からの支援〔近所の方へ支援できる(性別・年齢別)〕(上位項目)】



近所の方から支援してほしいことについて性別で見ると、いずれの項目も女性の方が割合が高くなっている。

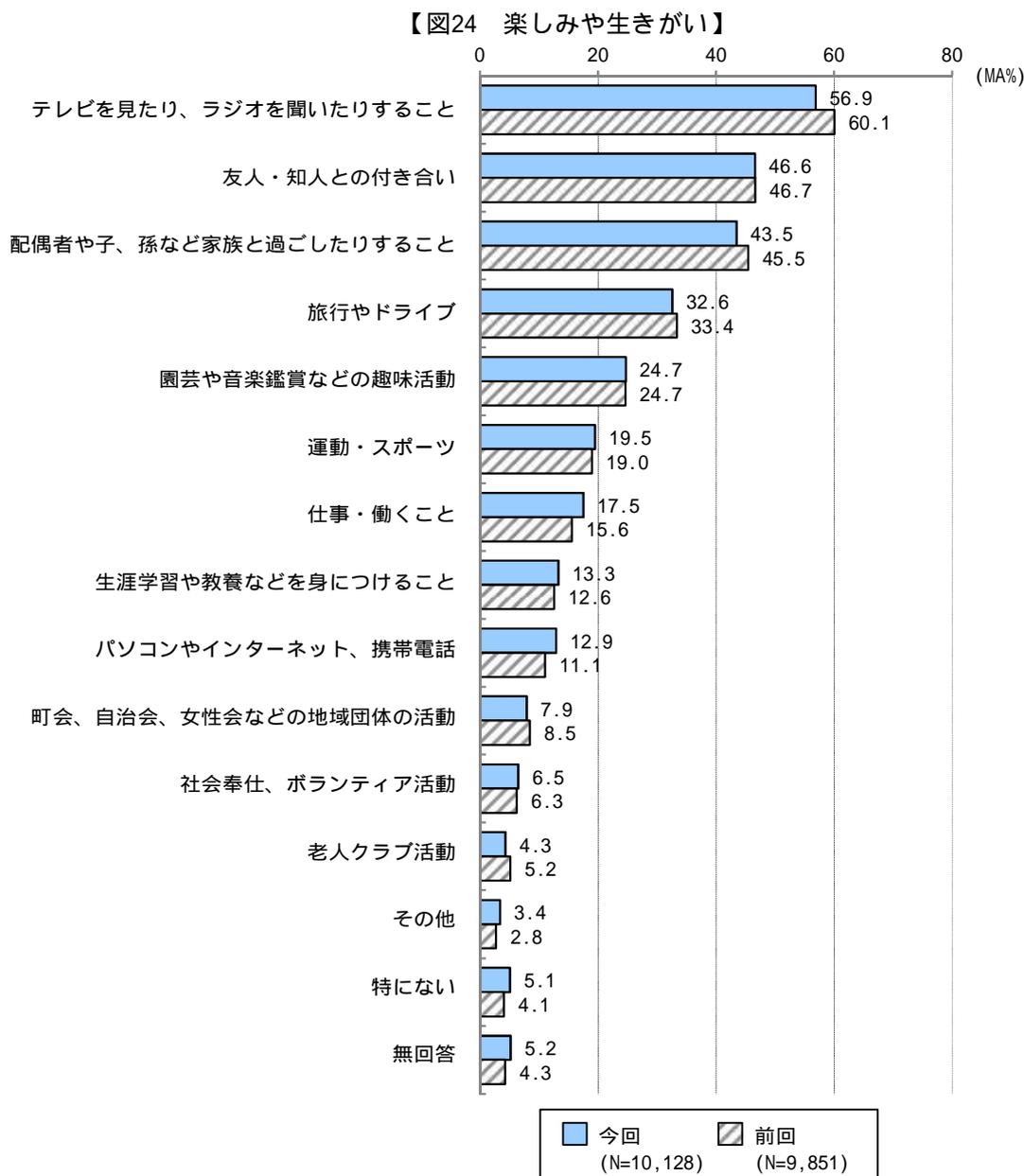
年齢別で見ると、「災害時の手助け」は90歳以上が30.6%で最も高くなっている。(図23-b)

【図23-b 近隣への支援と近隣からの支援〔近所の方から支援してほしい(性別・年齢別)〕(上位項目)】



問24 楽しみや生きがい

あなたにとっての楽しみや生きがいはどのようなことですか。(はいいくつでも)



楽しみや生きがいについては、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」が56.9%で最も多く、次いで「友人・知人との付き合い」(46.6%)、「配偶者や子、孫など家族と過ごしたりすること」(43.5%)となっている。

前回調査と比較すると、各割合に多少の差はあるものの、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」が最も多く、次いで「友人・知人との付き合い」、「配偶者や子、孫などご家族と過ごしたりすること」の順であり、概ね同様の傾向となっている。(図24)

性別でみると、「運動・スポーツ」「仕事・働くこと」「パソコンやインターネット、携帯電話」の回答割合は男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、「旅行やドライブ」「園芸や音楽鑑賞などの趣味活動」「運動・スポーツ」「仕事・働くこと」「パソコンやインターネット、携帯電話」の回答割合は高齢になるほど低くなっている。(図24-a)

【図24-a 楽しみや生きがい(性別・年齢別)(上位項目)】

